

令和4年度 事業計画

令和3年度はコロナウイルス感染症デルタ株が急拡大し、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が都道府県に発令されるなど厳しい状況が続いた。ワクチン接種が進み感染者の減少により経済活動の再開に向けた動きが見受けられた。しかし、12月には感染力の強いオミクロン株が確認され瞬く間に世界各国で感染が確認された。国内でも感染者が急増し1月には13都道府県に「まん延防止等重点措置」が発令されるなど依然として終息見通が出来ない状況が続いている。

また、令和3年度は平成29年度から始めた会員倍増5ヶ年計画の最終年度であったが、各地区での説明会・イベント開催時の広報活動が感染防止対策に相応しくないと判断され、それぞれの活動が困難となり当初計画を達成できなかった。

この様な厳しい経済環境の中、令和3年度シルバー事業は回復基調が見られたものの、イベント開催や島外事業者の活動は依然として停滞したままで、コロナ前の状況には戻っていない。このため昨年9月、五島市に公共事業の提供に関する要望を行った。

令和4年度はコロナとの共存を見据えた経済活動が見受けられ、センターには「図書館建設」に伴う「書籍整理業務」「五島空港敷地内整備事業」「公園メンテナンス業務」等の新規見積依頼が増加している。コロナ禍で「密接」が懸念され減少していた「ワンコインサービス」は、会員への感染防止対策の徹底等により利用者が増加に転じており、昨年11月にはコロナ前に戻り依頼申し込みが増えているが就業会員の確保が追いつかない状況下にある。

従って、令和4年度は会員確保が喫緊の課題となっている。

1 会員の感染防止対策の強化と新規会員獲得

会員のコロナ感染対策の強化を図り、依頼者への「安全・安心」の就業提供を行い、地域社会のニーズに応えうる会員確保を推進する。

- ①ワクチン接種の呼びかけや「マスク着用・うがい・手洗い」の啓発
- ②ボランティアグループ・高齢者集会での説明会の実施
- ③職域別の会員による働く仲間の確保
- ④支所地域(岐宿・玉之浦・三井楽・奈留・富江)の会員確保

2 会員ニーズに合った就業機会の確保

超高齢化社会の進展に伴い会員年齢も高齢化し、就業ニーズも多様化してることから会員の希望する職種開拓に取り組む。

- ①会員の希望する職種や余暇の過ごし方調査の実施
- ②就業開拓委員会による戦略立案と実践
- ③積極的な就業開拓活動の展開

3 高齢者が集う「シルバー人材センター拠点」づくり

人生100年時代を迎え、長い高齢期を豊かに過ごすためには「生きがいや健康増進・収入の確保」の取り組みが必要となる。
シルバー人材センターは高齢化社会の中核を担う組織としての役割を果たすため、人生経験豊富な会員の英知を結集し高齢者誰もが集える拠点づくりに取り組む。

- ①拠点づくり協議会の発足
- ②拠点運営計画の策定
- ③拠点内の就業開拓と仲間づくり

4 運営基盤の安定化と業務効率化

コロナ感染症の長期化や国や地方公共団体の大規模な財政支出により、今後、財政健全化に向けたシルバー補助金等の削減が懸念される為、運営基盤の強化と業務改善に取り組む。

- ①利用者の継続利用に向けた技能・就業マナー向上の取り組み(技能講習会等の開催)
- ②事業所等の個別訪問による就業機会の掘り起こし
- ③業務事務の平準化と役割分担の明確化(職員資質の向上)